

宮城県 栗駒ダムへの異常流入を踏まえた現地調査 結果について（速報）

～国土交通省の専門家により所見の記者会見を行います～

平成20年6月21日
国土交通省 東北地方整備局

平成20年6月21日午前0時30分に、栗駒ダムの流入量が急激に増加したとの報告を踏まえ、国土交通省の防災へりにて、国土総合政策技術研究所の砂防専門家がダム上流域における現地の状況を確認した結果（別添「コメント」）をお知らせします。

なお、調査結果については、調査した専門家が16時から宮城県栗原市役所において、説明を行う予定です。

1. 現地調査日時：平成20年6月21日 11:00～13:00
2. 調査者：東北地方整備局、国土技術政策総合研究所
3. 調査位置：宮城県栗原市沼倉ぬまくらうらさわ裏沢地区付近（三さん迫川はさま）
4. 記者会見日時：6月21日 16時～
5. 説明者：国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター
砂防研究室長 おさない 小山内 のぶとも 信智
6. 記者会見場所：栗原市役所（2階庁議室を予定）

問い合わせ先

東北地方整備局河川部河川調査官 久米 英輝
住所 仙台市青葉区二日町9-15
電話 022-225-2171（内3513）

本日未明の栗駒ダムの流入流量増加の原因は、天然ダム（沼倉裏沢）を形成している土砂を越流した水により、天端の一部を侵食し、さらに下流部の土砂を巻き込んだものが流出したものである。

その後、大きな石礫は直下流の砂防堰堤で止められた。さらに、堰堤群（床固め程度）で礫分を止めた。その後泥水となって下流部に流れ、栗駒ダムに流入したものである。

なお、水位が低下したことによって、今のところ滲筋がこれ以上急激に侵食をおこす可能性は低い。